

先月22日(土)、ひと月遅れの保護者会総会を開催いたしましたがお忙しい中、皆様に御出席頂きましたこと心より御礼申し上げます。ありがとうございました。コロナ禍に在って昨年度に引き続き中止も考えましたが、多くの方々のご要望で今回は開催する方向で数か月前から皆で考えを出し合いながら動いてきました。人数を考慮し会場は成田国際文化会館を借りて、乳児・幼児の二部制なら可能と判断しましたが、感染予防対策面で細部に亘ってのご配慮とご協力を頂く事となり当日は御不便や御手数をお掛け致しました。本日でちょうど10日が経ちましたが現在も何事もなく過ごせておりますことに安堵しつつ感謝と共に御報告致します。後日のアンケート等を通して、皆様からの温かな御感想や御意見を伺うことが出来、ぜひ今後の参考にさせて頂きたいと思っております。最も多くお寄せ頂いたのが“職員の自己紹介コーナーについて”でした。「先生達が身近に感じて楽しかった」「突然テーマを出されて慌てている先生達の姿に‘素’が感じられて面白かった」「テーマの無茶ぶりは毎年恒例にして欲しい」「今までの総会より和やかに感じた」等、私達の拙い話を温かく受け止めて下さっていたことが、とても嬉しかったです。例年は年度初めである故、お伝えすることはばかりが先行しがちでしたが、昨年度コロナの影響で皆様との交流や親睦の機会が殆んど皆無の1年間を経験した事で残念な想い以上に人間関係に於ける何とも言えない危機感が強く迫ってきました。そこで今年は、保護者の方々に園の方針や子ども達の日々の姿を知って頂ける形で行事や活動を何とか工夫して前向きな歩みを計画していきたいと思っております。今回の総会でも事務的な内容を可能な限り割愛し、顔と顔を合わせて同じ空間で感じ合える“人としての心のぬくもり”を大事にするひと時にしたいと思いました。

「自分の子どもの先生がどういう人なのか」今年の職員それぞれの「人となり」を少しでもお伝えできていれば幸いです。そして、つのぶえを通して出会えた絆を互いに喜び合いながら、子ども達を真ん中にして、共に分かち合えていけますようこれからもまた“今できること”を考え、機会を設けていきたいと思っております

私自身の自己紹介の中でもお話しした通り、私の人生は常に「えっ!? こっち!?!」という自らの希望や本意とは異なる道へ導かれてきました。その度にため息をつき神様に向かって文句や愚痴を想いのままぶつけていた私です。けれどもその中で必ず与えられたのは子ども達のまなざしでした。保育者を目指すきっかけとなった学生時代の初めての実習で、単位習得のためと割り切り未熟でいい加減だった私に「せんせい! だいすき!」とまっすぐに見つめて100%純粋な愛を注いでくれたひとりひとりの可愛い笑顔は今でも鮮明に思い出せる大切な宝です。そしてここに5か月の腰掛のつもりで入職したはずが、その5年後突然の“園長”を任命され泣きながら固辞し続け、周りの評価や感情を怖れて不安の中で向き合えずにいた時「せんせい! だいすき!」と駆け寄り笑顔でぎゅっと抱きしめてくれた子ども達の温かな笑顔とひたむきな瞳によって、今私はここにいられるのだと感謝しています。「肩書など関係ない」子ども達は立場の変った私をそのまま受け入れてくれました。そう! 子どもは心だけを見る。私も人の心を見ればいい。「人として」子ども達と共に分かち合っていこうとこの時神様から真の価値観を知らされた気がしました。振り返れば私の人生はいつも子ども達によって導かれ支えられているのだなあと思改めて神様の不思議な御心を想い、子ども達への感謝に溢れた自己紹介の時でした。

「人は心に自分の道を思い巡らす。しかしその人の歩みを確かなものにするのは主である。(箴言16:9)」

(石田 記)